

負けんばい熊本。

平成28年4月、熊本並びに大分、九州全域に起きた大震災。今も復興活動は続いています。人々は、今も尚、瓦礫の撤去作業に追われ、仮設で住んでおられる方、車中で寝食されている方々がおられます。復興活動はまだまだこれからも続いていきます。

タッチザハートジャパンでは、九州キリスト災害支援センター、熊本支部代表であり、牧師、教諭師でもあられる中村陽志先生をお迎えして、被災地の現状レポートをして頂き、震災復興支援の呼びかけをお願いしたいと願い、企画させて頂くことになりました。是非、この機会に、震災のさらなる現状をご理解し、ご協力、ご参加をお待ちしております。心からご案内申し上げます。

タッチザハートジャパン代表
細江 政人

9/24 (土)

1:00PM

チケット前売り ¥3500 / 当日 ¥4000
*当日、支援金募集、受付致します

ランチビュフェ&ソフトドリンク付き



フラダンスパフォーマンスあり。



会場：ウェディングホール

名古屋市市中村区名駅4-26-10

名駅ファーストビル4F 名古屋駅から徒歩5分

ゲストスピーカー：牧師

中村陽志氏

九州キリスト災害支援センター熊本支部代表

問題児から牧師、教諭師へ。

中村先生は、母親を、小学校5年生の時に、36歳の若さで胃がんで亡し、苦しみながら死んでいく母の姿が目焼きつき、死んだ人間はどうなるのか、私も母のように早くに死んでしまうのではないかと、死に対する恐れに束縛されるようになりました。また将来に対する不安もありました。父は小さな建設会社をやっていたのですが、母の死後、会社は傾き始め、私が中学に入った頃には会社が倒産しました。ある朝、一人暮らしをしていた姉が家に来て、父が夜逃げをしたことを私たち兄弟三人に告げました。その日から借金取りが家に来るようになりました。私たちは泣く泣く家を処分し、姉の住んでいた1DKのアパートに兄弟四人で住むようになりました。それからというもの、家に帰っても面白くなく、部活をしていても充実感がなく、夜な夜な友達と遊び歩く生活が始まりました。そんな時、神の愛、教会と出会い、人生が変えられて行きました。やがて社会人になり、自分で仕事を持ちながら、福岡ハーベストチャーチのスタッフとして仕えてきました。

2002年に家族とともに熊本に移住し、熊本ハーベストチャーチをスタート。過去の自分の生い立ちを通して、若い世代の人生をサポートしたい情熱から、熊本の刑務所に教諭師の道が開かれました。そこで200人を超える受刑者の人生に影響を与えています。そして今年、熊本震災が起こりました。真っ先に復興支援の先頭に立ち、熊本の復興に日夜、奮闘されています。

ご家族は、最高のパートナーである奥様と可愛い娘3人に囲まれて生活をされています。現在では、熊本YMCA学院のキリスト教学とYMCA高等学院の宗教学の非常勤講師、熊本刑務所宗教教諭師、日本ベンテコステ親交会常任委員をされて日本中で活躍されています。

「心の居場所が見つければ人生はいつでもやり直せる」
—200人の受刑者が生まれ変わった教諭師の奇跡の言葉—
中村陽志著

絶賛発売中!

九州キリスト
災害支援センター

<http://kyusyuchristdrc.wixsite.com/kumamoto>

